



WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

□会長／南條 恭有紀 □副会長／加藤 文昭

□幹事／大杉 淳 □副幹事／柳瀬 英雄

例会日:毎週月曜日 18:00～19:00

例会場:静岡グランドホテル中島屋

事務所:静岡市葵区追手町2-12 5F/ TEL 054-254-5611

2016-2017年度RI会長 ジョン F. ジャーム 「ROTARY SERVING HUMANITY」

平成29年2月7日(火)

No.1253
第1324回 例会

ホームページ
アクセス数

2017.2.8
26948

ホスト:静岡南ロータリークラブ

静岡市内7クラブ合同例会

場所:グランディエールブケ・トーカイ4F

♪ 本日のロータリーソング「奉仕の理想」 ● ソングリーダー: 鈴木 雅 会員(静岡南RC)

静岡南RC会長 赤井 正明様 ごあいさつ



皆様今日は市内7クラブ合同例会に出席を頂きましてありがとうございます。ホストクラブ会長の赤井正明でございます。

立春が過ぎたとはいえまだ春遠く寒さが続いておりますが、今日は年一回の7クラブ合同例会です。この合同例会がクラブ同士の繋がりとロータリアンの友情を深める機会となることを願っております。

さて、本日の講演は「徳川家康公と久能山東照宮」と題して東照宮宮司の落合偉洲先生の講演です。徳川家康公はもともと弱小な一地方豪族の子だったため幼少時代は人質として過ごしましたが、豊臣政権下では五大老の筆頭にまでなりついに豊臣氏を滅ぼし江戸幕府を開いた戦術の達人です。一方で生活は質素で常日頃健康に留意し、外国の薬学などに精通し当時としては75歳と長寿を全うしました。

我々地元の企業人として本日の落合先生のお話が、何か地域に役立てられるヒントになればと願っております。



■お客様紹介と出席報告

静岡RC会長	久保田 隆 様	(63名)
静岡東RC会長	大村 幸代 様	(34名)
静岡日本平RC会長	辻村 宜孝 様	(31名)
静岡西RC会長	沼田 時子 様	(25名)
静岡中央RC会長	南條 恭有紀 様	(35名)
静岡北RC会長	前野 克己 様	(22名)
静岡南RC会長	赤井 正明 様	(17名)

合 計 227名



静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会 / 松下 慎一 小澤 行雄 小谷野 陽子

ホームページ <http://shizuoka-chuo-rc.jp/> メールアドレス 6rc-godo@mail.wbs.ne.jp

講演

久能山東照宮宮司
落合 偉洲 様

～ 徳川家康公と久能山東照宮 ～



家康公は、慶長十二年(一六〇七)大御所として駿府に入った。林羅山は二十六歳で公の侍講となって、公の同行し、公蒐集書籍を整備して図書館「駿河文庫」を作り、銅活字で本の出版などをおこなった。家康公の天下泰平の国造りの基本は、文教政策で、「人倫の道 明かならざるより 自ずから世も乱れ国も治らずして騒乱止む無し。この道理を論し知らんとならば、書籍より外には無し。」(「武野燭談」)ということにあった。

また公の外交基本は、平和外交であり、軍事、戦争を避けて、経済振興による国の平和的発展を標榜するものであった。そのことを雄弁に物語る、スペイン国王から家康公が寄贈を受けた西洋時計が、久能山東照宮博物館に伝来する。

家康公の文教政策と特に洋時計に焦点を当て、外交政策を中心に話を組み立てた。また、米沢藩主、上杉鷹山公に纏わるエピソードを元に、心豊かな東北農村風景を紹介した。

徳川家康公や徳川時代の正しい理解のお役に立てる講演となれば幸いである。

